

科目名	経営戦略論	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Strategic Management	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	い ち ょ ん み ん	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	李 廷 珉	修得単位	2単位
授業のテーマ	グローバル化と戦略（型）経営		
到達目標	戦略的思考を身につけ就職活動に役立てる		
授業概要	<p>経営史家として有名なチャンドラー教授によれば、戦略（strategy：ストラテジー）とは、「長期的な目標を定め、それをいかに達成するかという方針」のことです。したがって、戦略は、何も取締役などの経営陣や経営企画部の上位管理担当者だけに必要とされるものではなく、全社的に意識を高める意味でマネジメントに関わるあらゆる部署のそれぞれの担当者にも必要とされるものです。そして、より重要なことは、その戦略が株主や地域社会、消費者や協力企業、NPOなどのステークホルダを重視したものでなければ、社会の中において企業活動を続け、事業体として存続することができなくなるということです。これらの論点に関して、本講義は、その理論的な背景を追いつつ、事例研究を紹介しながら、「企業経営と社会」の問題の理解を深めます。</p>		
授業計画			
第1回	イントロダクション		
第2回	戦略の理解－企業経営における戦略の意味、その重要性－		
第3回	経営環境の理解－SWOT分析－		
第4回	経営環境の理解－外部環境の分析－		
第5回	経営環境の理解－内部環境の分析－		
第6回	事業ドメインの確立		
第7回	成長戦略－製品・市場マトリックス		
第8回	成長戦略－プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM）		
第9回	競争戦略－ポーター教授と競争戦略の意義－		
第10回	競争戦略－業界分析（five forces analysis）		
第11回	競争戦略－3つの基本戦略－		
第12回	競争戦略－価値連鎖（value chain）と戦略的ポジションニング－		
第13回	競争戦略－経営戦略研究の最近の動向について（RBVの考え方との関連で）－		
第14回	戦略実行とコントロール		
第15回	復習・総括		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 新聞、その他の経済誌、何れかのうち、一つを選び、継続して読んでいく習慣をつけて下さい。 2. 暇を見つけては、図書館へ行き情報を収集し、先生方の研究室へ行き議論を仕掛けて下さい。		
履修条件 受講のルール	日本経済論、経営学基礎論、経営管理論、人的資源管理論を受講することが望ましい。		
テキスト	講義資料（パワーポイント資料）を配布する		
参考文献・資料	<p>石井淳蔵・奥村昭博・加護野忠男・野中郁次郎『経営戦略論』有斐閣、2008年。 李廷珉「韓国サムスン電子の東アジア戦略と日本的経営」、林正樹編著『現代日本企業の競争力－日本的経営の行方－』ミネルヴァ書房、2011年。 Ian Marcouse, Denry Machin, Philippa Anderson, Nigel Watson, Alexandra Black, <i>The Business Book</i></p>		

	Dorling Kindersley, 2014.				
成績評価の方法	受講状態により判断するが、次の2つの目標の達成度を勘案する。すなわち、履修目標と到達目標の2点である。履修目標とは授業で扱う内容（授業のねらい）を示す目標であり、到達目標とは授業において最低限学生が身につける内容を示す目標である。				
オフィスアワー	毎週火曜日 13:00～14:30				
成績評価基準	秀	優	良	可	不可
	履修目標を超えたレベルを達成している。	履修目標を達成している。	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している。	到達目標を達成している。	到達目標を達成できていない。
	出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができない。				
学生へのメッセージ	Start small, think big!				